日本非破壊検査協会　東北支部

講演要旨の書式について

学　東北　花子1,\*　　正　宮城　太郎1

正　仙台　一郎2

1東北大学大学院工学研究科

2非破壊大学大学院工学研究科

\*info@jsndi-tohoku.jp

**On the Format of Abstract for the Japanese Society for Non-Destructive Inspection Tohoku Branch**

Hanako Tohoku,1,\* Taro Miyagi,1 Ichiro Sendai2

1Department of Nanomechanics, Tohoku University

2Deparment of Mechanical Engineering, Hihakai University

キーワード：非破壊検査、東北支部、講演会要旨、書式

1. 緒言（又はまえがき）

この原稿は（一社）日本非破壊検査協会東北支部が開催する講演会の講演要旨の執筆要項を記載したものです。

講演要旨はA4用紙，2段組みとします。上下左右20mmの余白を設け，中央の間隔は10mmとします。題目は13ptの太字で，著者名と所属は11ptとし，本文は10ptの文字で記載することを標準とします。

2. 原稿執筆の手引き

2.1 原稿のページ数について

講演要旨は1ページを標準としますが，特別講演等では増ページを認める場合があります。

2.2 原稿の題目等に関して

はじめに題目，著者名，所属を日本語と英語で記載して下さい。

2.3 キーワードに関して

講演に関係するキーワードを4～5語記載して下さい。

2.4 図および表に関して

本文中では図1，表1のように引用して下さい。なお講演要旨は通常白黒印刷され，支部会資料と共に製本されますので，白黒印刷で十分識別できるように作成して下さい。

図1 題目を図の下に記載

2.5 数式に関して

本文中では式(1)のように引用して下さい。

 (1)

2.6 引用文献に関して

本文中では，例えば(1),(2)のように引用し，引用文献は本文末尾にまとめて下さい。

3. 結言

本原稿では章を設けるスタイルとしておりますが，章を設けないスタイルで執筆いただいても構いません。本原稿を参考にしてより見やすく，充実した講演要旨を作成して下さい。

参考文献

1. 著者A, 著者B, 著者C: 論文題目, 非破壊検査, 61, pp.597604 (2012).
2. Author A, Author B, Author C and Author D: Title of paper, Mater. Trans., 48, pp. 1166-1172 (2007).